

平成30年度  
自治会・町内会アンケート  
報告書



京 都 市

調査期間：平成30年9月～12月

## 目次

第1章：調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の実施要領.....	1
3 調査票の配布・回収の状況.....	1
第2章：調査結果の概要.....	2
1 自治会・町内会の加入状況.....	2
(1) 自治会・町内会の加入率.....	2
(2) 自治会・町内会ごとの加入世帯数.....	3
2 自治会・町内会への加入について.....	5
(1) 転入者の自治会・町内会への加入状況.....	5
(2) 加入の呼び掛け.....	5
(3) マンション住人とのコミュニティの形成について.....	6
3 自治会・町内会の課題について.....	6
(1) 運営における課題.....	6
4 自治会・町内会など地域の暮らしの様子について.....	7
(1) 社会生活のマナー等.....	7
(2) 住民同士のかかわりあい.....	8
(3) 安心・安全（犯罪不安感）.....	9
(4) 子育てのしやすさ・高齢者の住みやすさ.....	10
5 学区・元学区における地域活動について.....	11
6 京都市の地域コミュニティ活性化策について.....	12
(1) 地域コミュニティ活性化推進条例について.....	12
(2) 地域コミュニティサポートセンターについて.....	13
7 自治会・町内会の代表者の属性について.....	13
(1) 性別.....	13
(2) 年齢.....	14
(3) 会長等在任年数.....	14
(4) 現在の町内にお住まいの期間.....	15
8 自治会・町内会の必要性について.....	15
＜参考＞平成30年度自治会・町内会アンケートの設問.....	16

## 第 1 章：調査の概要

### 1 調査の目的

京都市が、「京都市地域コミュニティ活性化推進条例」に基づいて、地域住民主体の取組を支援していくに当たり、地域コミュニティの中核である自治会・町内会の現状や課題を把握し、今後の施策づくりに役立てるため、本調査を実施したものである。

### 2 調査の実施要領

- 調査地域 京都市
- 調査対象 京都市内の自治会長・町内会の代表者
- 調査対象数（配布数） 6,477 件
- 調査方法 書面によるアンケート調査（郵送回収）
- 調査期間 平成 30 年 9 月 6 日～12 月 31 日
- 調査項目 58 項目（巻末のアンケート設問参照）

### 3 調査票の配布・回収の状況

配布数	回答数（回答率）
6,477 件	3,345 件（51.6%）

※平成 28 年度アンケートは、配布数 6,580 件、回答数 2,969 件（回答率 45.1%）

※「調査項目数」は平成 26 年度 55 項目。平成 28 年度 58 項目。

<この報告書の集計方法、数値の取り扱いについて>

- 集計は百分率（%）によるものとし、集計結果は小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位までを表記している。
- 単数回答（選択肢を 1 つだけ選ぶ）設問の各選択肢の回答構成比の合計は、四捨五入の関係で 100.0% にならない場合がある。また、複数回答（該当する選択肢をすべて選ぶ）設問の各選択肢の回答構成比の合計は 100.0% を超える場合がある。
- グラフ中の「N=\*\*\*」は集計母数（無回答を含む）を表している。

## 第2章：調査結果の概要

### 1 自治会・町内会の加入状況

#### (1) 自治会・町内会の加入率

今年度のアンケート回答のうち、加入世帯数と未加入世帯数が記載された回答と、今年度回答がなく、前回の調査で同様に記載された回答を基に、自治会・町内会が組織されていない地域の存在も加味して算出した推計加入世帯数と調査期間中である平成30年11月1日現在の総世帯数とを対比することにより、自治会・町内会の加入世帯数を推計した。

**京都市の推計加入率：67.7%（推計加入世帯数：488,789世帯／総世帯数722,054世帯）**

<参考>

※平成28年度 推計加入率68.5%（推計加入世帯数：488,257世帯／総世帯数712,625世帯）

※平成26年度 推計加入率69.8%（推計加入世帯数：488,020世帯／総世帯数699,644世帯）

※平成25年度 推計加入率69.6%（推計加入世帯数：482,946世帯／総世帯数694,135世帯）

※平成24年度 推計加入率69.8%（推計加入世帯数：481,093世帯／総世帯数689,416世帯）

なお、全市の推計加入率と同様の方法により算出した行政区別の推計加入率は下記のとおりであるが、回答いただいた世帯数を基に機械的に算出したものであり、地域ごとの自治会・町内会組織の有無等の状況が反映されていないことなどから、一つの目安として取り扱いいただきたい。

<行政区別の推計加入率>

行政区(支所)	加入率
北区	68.3%
上京区	73.4%
左京区	68.3%
中京区	74.3%
東山区	75.1%
山科区	64.2%

行政区(支所)	加入率
下京区	70.7%
南区	68.6%
右京区	67.2%
西京区(全体)	59.5%
本所管内	53.7%
洛西支所管内	69.9%

行政区(支所)	加入率
伏見区(全体)	65.8%
本所管内	65.8%
深草支所管内	67.4%
醍醐支所管内	63.8%

<参考1>加入率算出の方法

① 加入世帯数と未加入世帯数の両方が記載された回答（今年度回答がなかった自治会・町内会については、前回に同様の回答があれば当該回答も含める。）と、加入世帯数のみ記載されている回答（そのうち前回に、加入世帯数と未加入世帯数の両方が記載された回答があれば当該回答を採る。）から世帯数を抽出して、回答対象地域の世帯数（加入世帯数＋未加入世帯数）を算出した。

② 学生マンション等の自治会・町内会が組織されていない地域（今回のアンケートの対象外地域）が全世界帯の概ね1割程度（※）あると考えられることから、本市の総世帯数から1割を差し引いた世帯数について、①で算出した回答対象地域の加入世帯数を世帯数（加入世帯数＋未加入世帯数）で除した比率を乗じることにより、本市の総加入世帯数を推計した。

（※）各学区への照会調査により算定したところ、これまでのアンケートとほぼ同じ割合（10.2%）となったため、推計加入率算出の経年的な整合性も踏まえ、従来どおり1割と推計したものである。

③ 上記②で推計した本市の総加入世帯数を本市の総世帯数で除して、加入率を算出した。

<参考2>行政区ごとの集計世帯数

行政区(支所)	加入世帯数	未加入世帯数
北区	28,830	9,140
上京区	20,060	4,544
左京区	35,131	11,183
中京区	25,968	5,501
東山区	11,657	2,309
山科区	27,664	11,114
下京区	22,669	6,195
南区	21,215	6,625

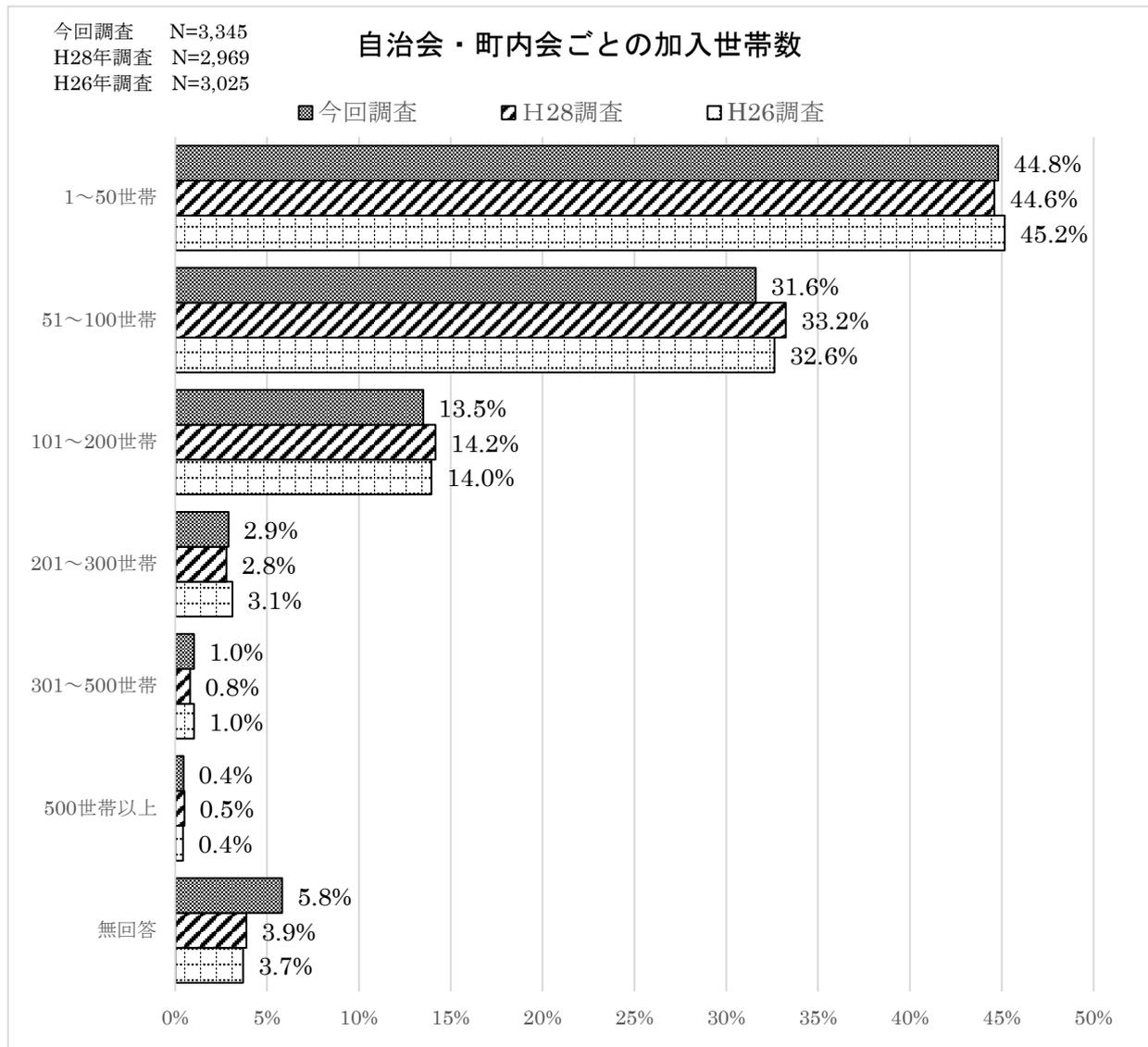
行政区(支所)	加入世帯数	未加入世帯数
右京区	37,528	12,732
西京区(本所管内)	15,488	10,476
西京区(洛西支所管内)	11,216	3,215
伏見区(本所管内)	24,703	9,064
伏見区(深草支所管内)	12,847	4,303
伏見区(醍醐支所管内)	9,933	4,069

京都市全体	304,909	100,470
-------	---------	---------

## (2) 自治会・町内会ごとの加入世帯数

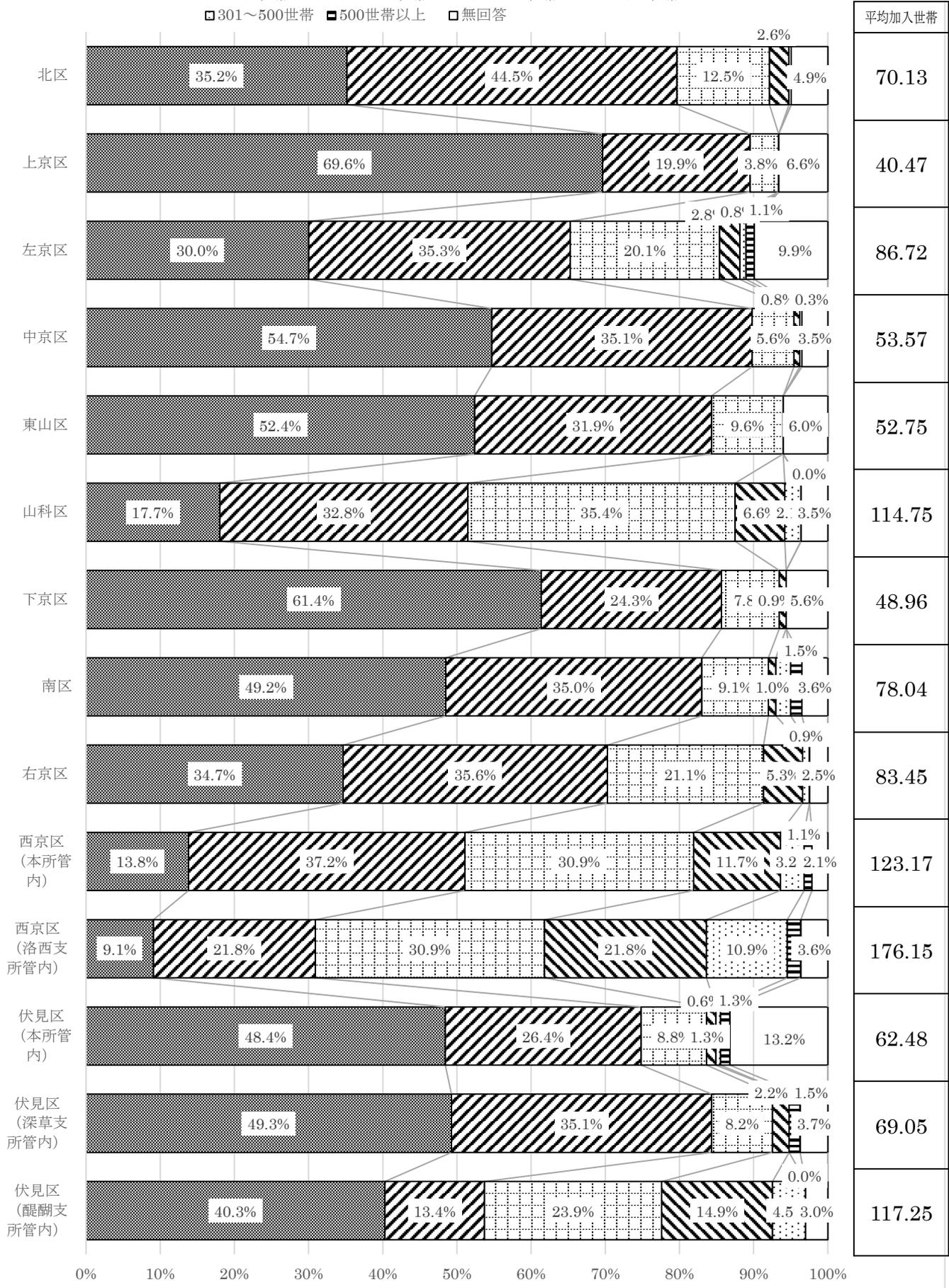
自治会・町内会ごとの加入世帯数は「1～50世帯」(44.8%)が最も多く、次いで「51～100世帯」(31.6%)となっている。前回の結果と比較してみると、「1～50世帯」の自治会・町内会の割合が少し増加し、「51～100世帯」の割合が少し減少している。

1 団体当たりの平均加入世帯数は全市では71.7世帯となっているが、行政区により違いが見られた。なお、平成28年度のアンケートでの平均加入世帯数は74.6世帯であり、前回から2.9世帯減少している。なお、平成26年度のアンケートでの平均加入世帯数は73.2世帯である。



## 自治会・町内会ごとの加入世帯数（行政区別）

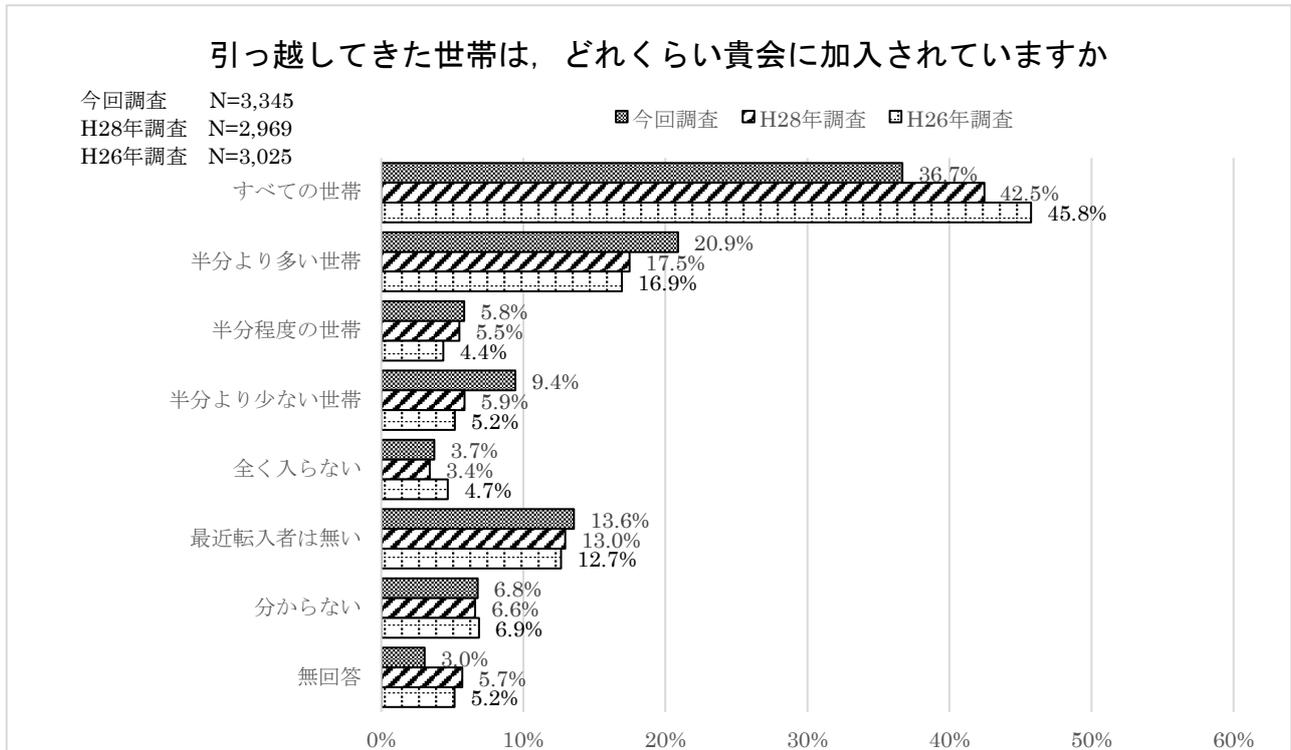
■ 1～50世帯   ■ 51～100世帯   ■ 101～200世帯   ■ 201～300世帯  
 ■ 301～500世帯   ■ 500世帯以上   □ 無回答



## 2 自治会・町内会への加入について

### (1) 転入者の自治会・町内会への加入状況

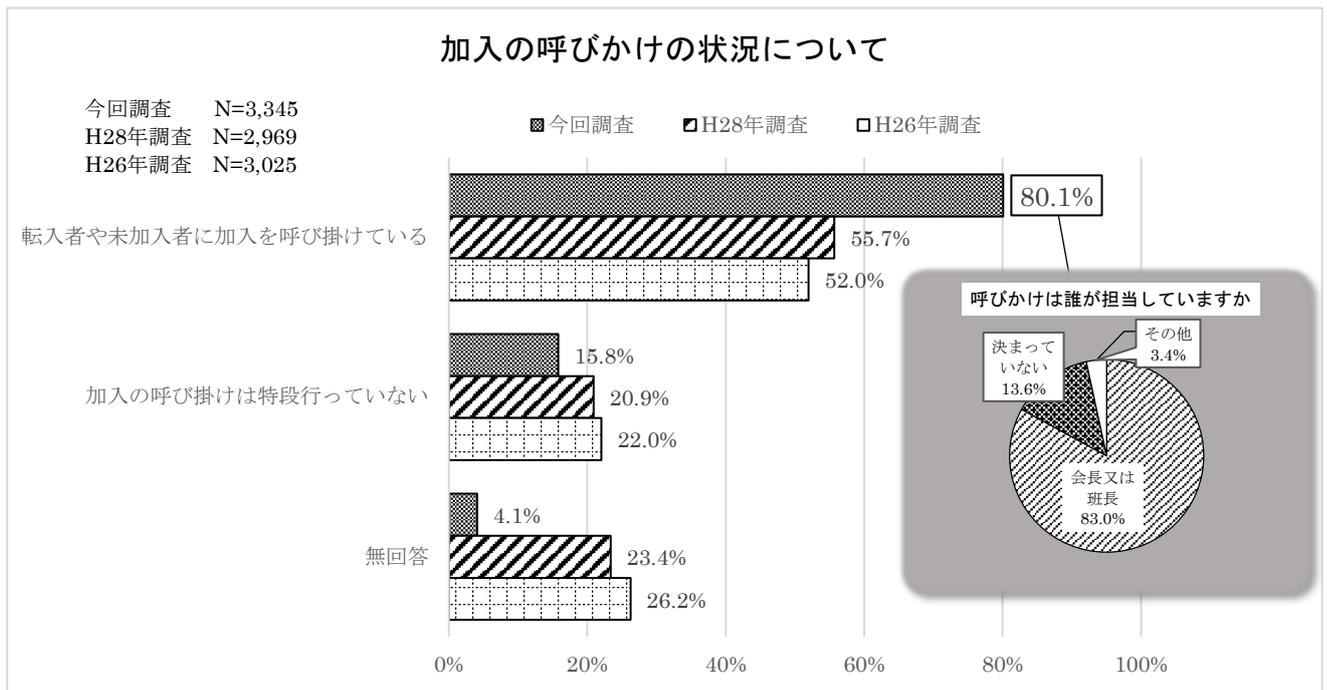
引っ越して来た世帯が、どれくらい自治会・町内会に加入されているかを尋ねたところ、「すべての世帯」(36.7%) との回答が最も多く、次いで「半分より多い世帯」(20.9%) となっている。



### (2) 加入の呼び掛け

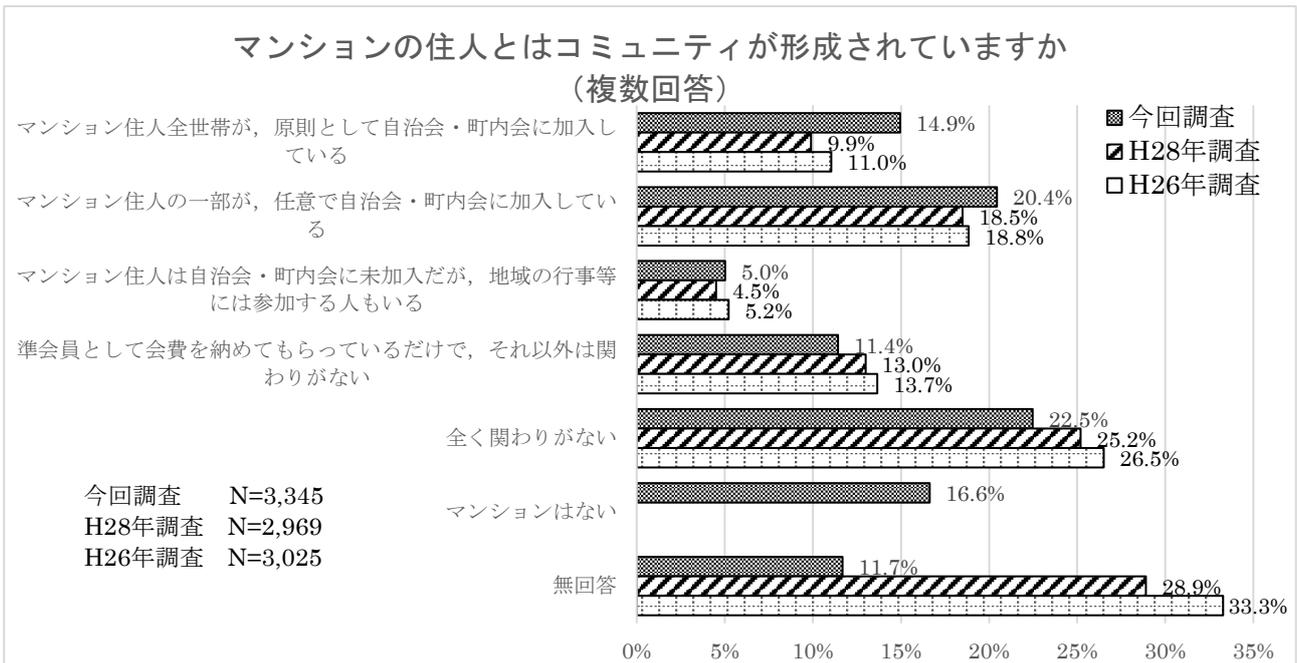
加入促進活動については、「転入者や未加入者に加入を呼び掛けている」は80.1%「加入の呼び掛けは特段行っていない」は15.8%となっている。

なお、加入の呼び掛けは「会長又は班（組）長」からが最も多い。



### (3) マンション住人とのコミュニティの形成について

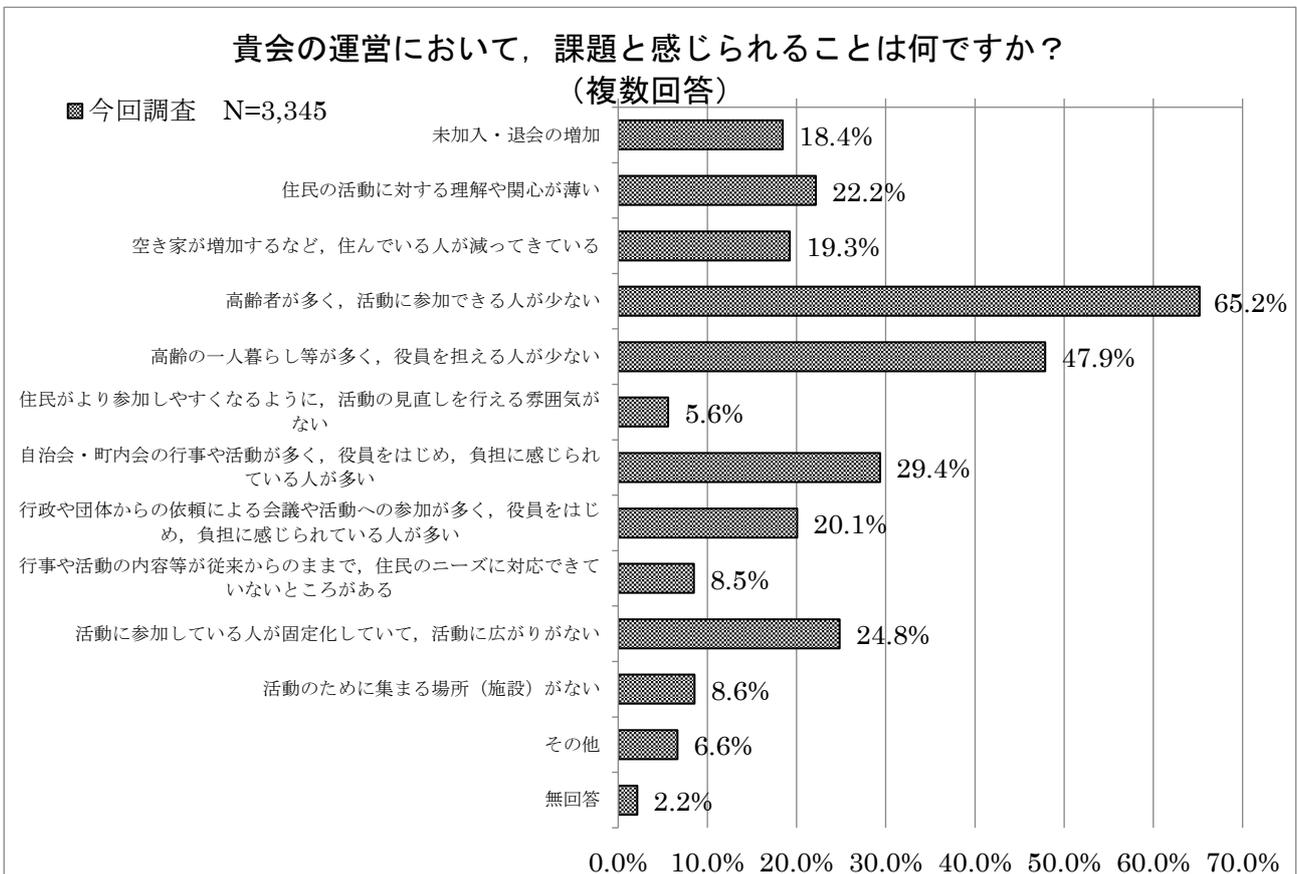
マンションの住人とのコミュニティ形成は、「全く関わりがない」(22.5%)が最も多く、次いで「マンション住人の一部が、任意で自治会・町内会に加入している」(20.4%)となっている。



### 3 自治会・町内会の課題について

#### (1) 運営における課題

自治会・町内会の運営における課題を尋ねたところ、「高齢者が多く、活動に参加できる人が少ない」(65.2%)との回答が最も多く、次いで「高齢の一人暮らし等が多く、役員を担える人が少ない」(47.9%)となっている。



#### 4 自治会・町内会など地域の暮らしの様子について

##### (1) 社会生活のマナー等

地域における「社会生活のマナー等」について、以下の6項目（ア～カ）に基づいてお尋ねした。

項目ごとに、お住まいの地域がどの程度該当するかを答えていただいたが、ここでは、すべての項目について合計したものを、「社会生活のマナー等」としてグラフ化した。

「よくある」(5.2%)と「たまにある」(16.1%)の合計が 21.3%で、「ほとんどない」(48.6%)と「どちらかというとない」(19.1%)との合計では67.7%となっている。

<設問項目>①よくある ②たまにある ③どちらとも言えない ④どちらかというとない  
⑤ほとんどない

##### ア 路上にゴミが落ちていて、気になることがある

(①9.9% ②29.8% ③4.9% ④21.8% ⑤29.7% ⑥無回答 3.9%)

##### イ 壊れたままになっている街灯がある

(①0.8% ②4.2% ③3.6% ④16.1% ⑤70.6% ⑥無回答 4.7%)

##### ウ タバコを吸っている未成年を見かける

(①1.0% ②5.1% ③5.2% ④14.8% ⑤69.2% ⑥無回答 4.7%)

##### エ 夜中に店の前や公園でたむろしている若者を見かける

(①2.1% ②10.3% ③6.1% ④17.4% ⑤58.7% ⑥無回答 5.4%)

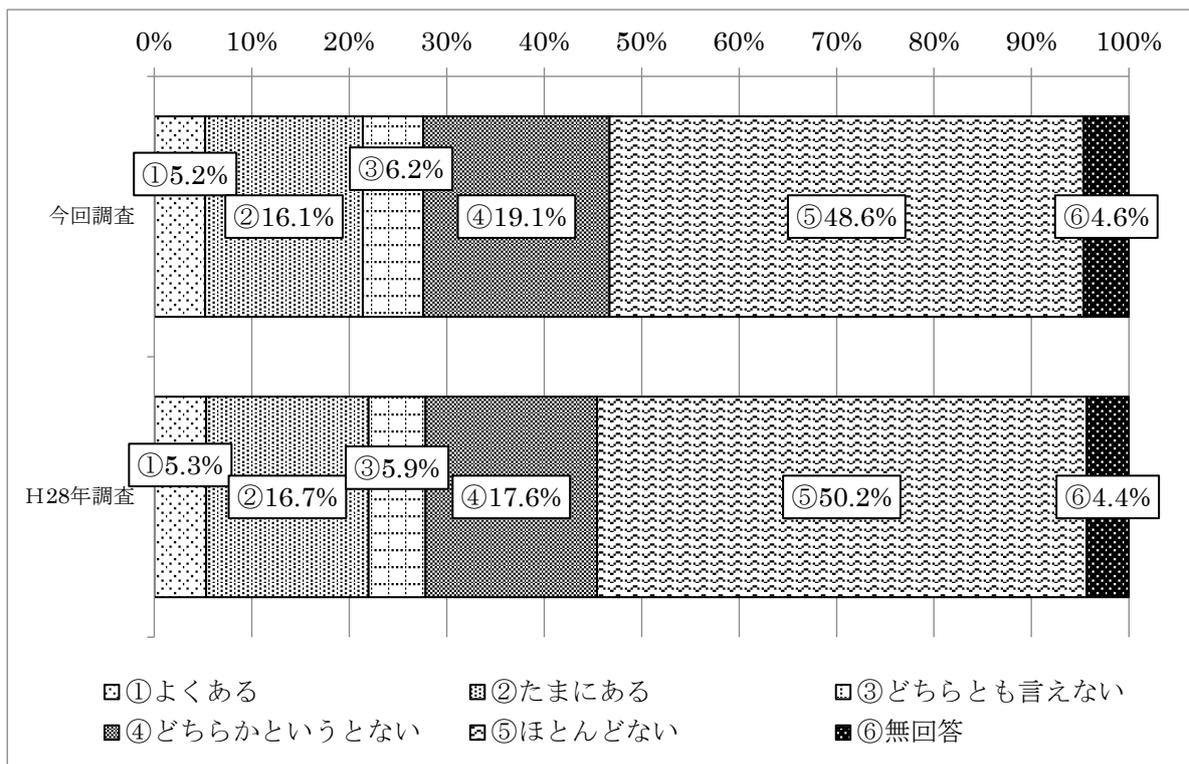
##### オ 信号無視や違法駐車、駐輪マナーが守られていないことがある

(①10.3% ②23.7% ③9.5% ④21.6% ⑤29.5% ⑥無回答 5.4%)

##### カ 住民同士のルールやマナー（ゴミの出し方や夜間騒音など）が守られていないことがある

(①7.4% ②23.7% ③8.1% ④22.9% ⑤34.1% ⑥無回答 3.8%)

社会生活のマナー等



## (2) 住民同士のかかわりあい

「住民同士のかかわりあい」について、以下の8項目（ア～ク）に基づいてお尋ねした。

項目ごとに、住民同士のかかわりあいがどの程度該当するかを答えていただいたが、ここでは、すべての項目について合計したものを、「住民同士のかかわりあい」としてグラフ化した。

「よくある」(8.0%)と「たまにある」(30.3%)の合計が38.3%で、「ほとんどない」(19.9%)と「どちらかというとなない」(14.8%)の合計が34.7%となっている。

<設問項目>①よくある ②たまにある ③どちらとも言えない ④どちらかというとなない  
⑤ほとんどない

### ア 立ち話をする

(①28.0% ②52.7% ③7.3% ④4.5% ⑤3.9% ⑥無回答 3.6%)

### イ 趣味やスポーツを一緒にする

(①4.4% ②18.7% ③19.6% ④20.4% ⑤32.0% ⑥無回答 4.9%)

### ウ 一緒に出かけたり，買い物や食事をしたりする

(①1.8% ②15.9% ③22.1% ④20.2% ⑤35.0% ⑥無回答 5.0%)

### エ お互いの家に遊びに行く

(①1.4% ②13.5% ③22.5% ④21.2% ⑤36.0% ⑥無回答 5.4%)

### オ おすそ分けをしたり，おみやげを渡したり貰ったりする

(①6.9% ②40.4% ③17.9% ④12.9% ⑤17.3% ⑥無回答 4.6%)

### カ お互いにお節介をやいたり，思いやったりする

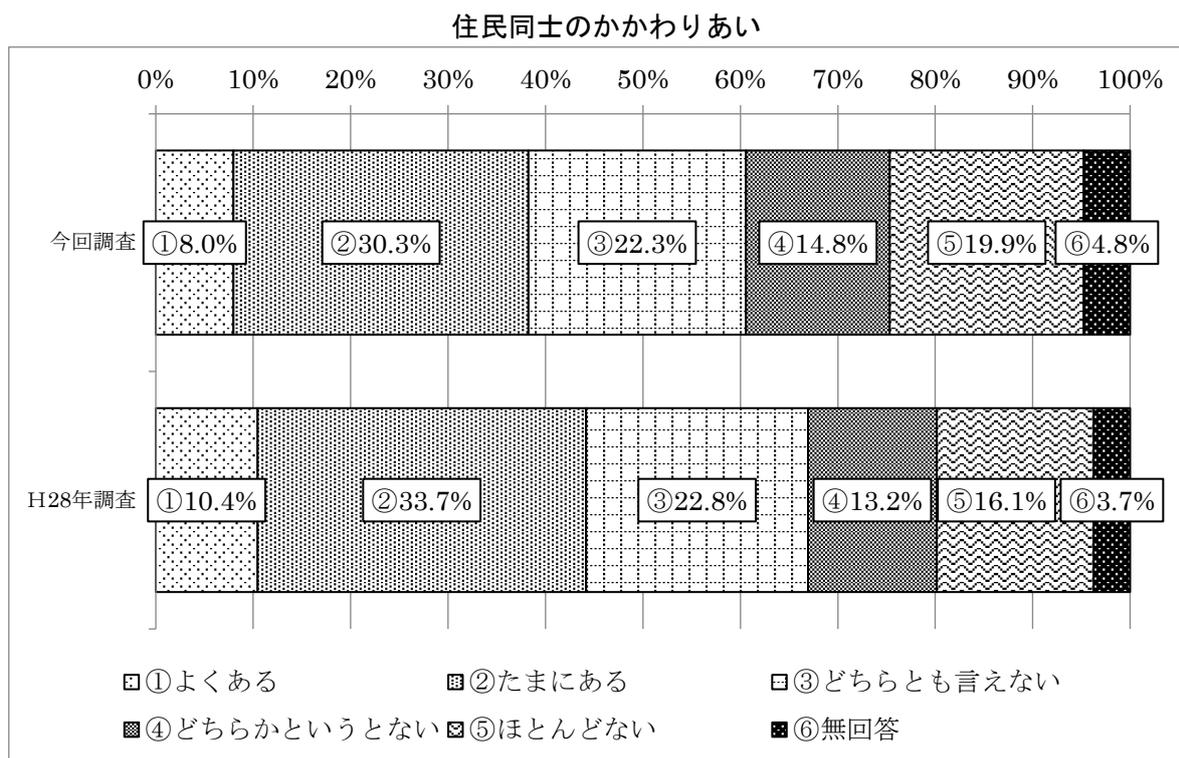
(①4.8% ②30.7% ③29.4% ④14.9% ⑤15.1% ⑥無回答 5.1%)

### キ ちょっとしたことでも助け合う

(①8.7% ②41.9% ③25.8% ④10.6% ⑤8.5% ⑥無回答 4.5%)

### ク お互い友達になる

(①8.0% ②28.1% ③34.2% ④13.3% ⑤11.3% ⑥無回答 5.1%)



(3) 安心・安全（犯罪不安感）

地域での「安心・安全（犯罪不安感）」について以下の4項目（ア～エ）に基づいてお尋ねした。

項目ごとに、安心・安全（犯罪不安感）がどの程度該当するかを答えていただいたが、ここでは、すべての項目について合計したものを、「安心・安全（犯罪不安感）」としてグラフ化した。

「非常に心配だ」(7.2%)と「少し心配だ」(22.9%)の合計が30.1%で、「全く心配していない」(12.5%)と「あまり心配していない」(34.5%)の合計が47.0%となっている。

<設問項目>①非常に心配だ ②少し心配だ ③どちらとも言えない ④あまり心配していない  
⑤全く心配していない

ア 留守宅に泥棒が入ること

(①9.4% ②26.5% ③15.1% ④34.2% ⑤10.8% ⑥無回答4.0%)

イ 道を歩いていて、ひったくりにあうこと

(①5.4% ②17.9% ③17.1% ④38.5% ⑤16.2% ⑥無回答4.8%)

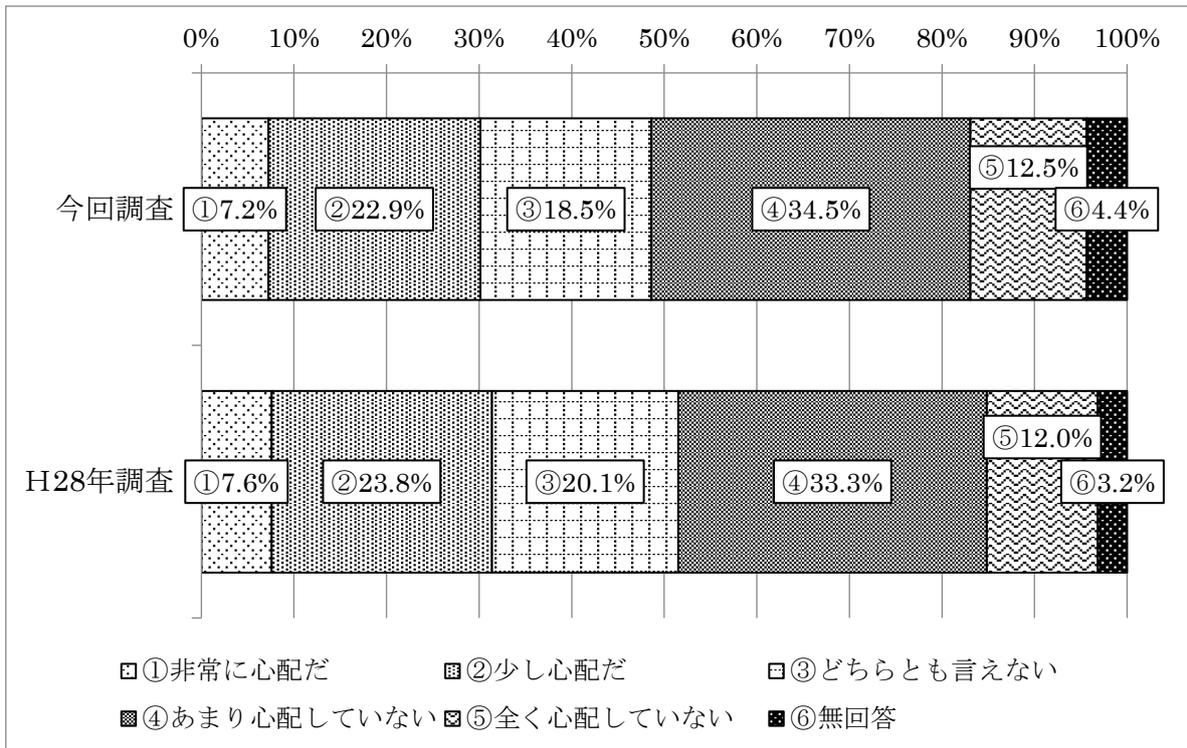
ウ 車上ねらいが起ること

(①6.2% ②20.5% ③18.4% ④36.1% ⑤14.1% ⑥無回答4.7%)

エ 不審者を見かけること

(①7.9% ②26.7% ③23.3% ④29.0% ⑤9.0% ⑥無回答4.1%)

安心・安全（犯罪不安感）



#### (4) 子育てのしやすさ・高齢者の住みやすさ

地域における「子育てのしやすさ・高齢者の住みやすさ」について、以下の 11 項目（ア～サ）に基づいてお尋ねした。

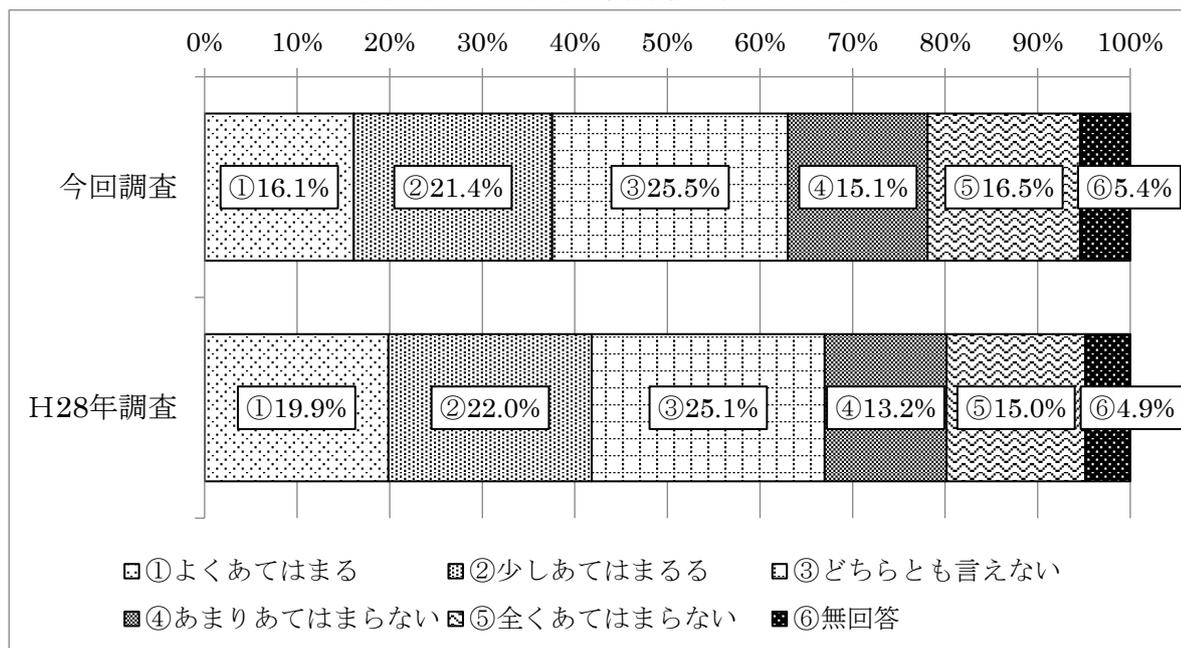
項目ごとに、どの程度該当するかを答えていただいたが、ここでは、すべての項目について合計したものを、「子育てのしやすさ・高齢者の住みやすさ」としてグラフ化した。

「よくあてはまる」（16.1%）と「少しあてはまる」（21.4%）の合計が 37.5% で、「全くあてはまらない」（16.5%）と「あまりあてはまらない」（15.1%）の合計が 31.6% となっている。

<設問項目> ①よくあてはまる ②少しあてはまる ③どちらとも言えない  
④あまりあてはまらない ⑤全くあてはまらない

- ア こどもが近所のよその家で気軽にごはんを食べてくる  
(①0.5% ②3.8% ③17.6% ④27.6% ⑤44.5% ⑥無回答 6.0%)
- イ こどもが夜泣きしてもあまり気兼ねなく子育てできる  
(①12.3% ②20.5% ③34.6% ④11.7% ⑤14.3% ⑥無回答 6.5%)
- ウ 地藏盆が熱心に行われている  
(①37.9% ②23.5% ③11.7% ④7.1% ⑤16.3% ⑥無回答 3.5%)
- エ 地域のこどもの名前（下の名前）を 5 人以上言える  
(①16.1% ②16.3% ③16.7% ④20.5% ⑤24.6% ⑥無回答 5.8%)
- オ 高齢者が気兼ねなく参加できる活動が盛んである  
(①8.6% ②20.8% ③28.0% ④22.1% ⑤15.8% ⑥無回答 4.8%)
- カ こどもが地域の高齢者にあいさつをする  
(①9.7% ②30.3% ③31.9% ④14.3% ⑤8.1% ⑥無回答 5.7%)
- キ 高齢者にとって住みやすいところである  
(①16.1% ②35.5% ③34.0% ④6.7% ⑤2.6% ⑥無回答 5.2%)
- ク 高齢者の見守り活動が熱心に行われている  
(①10.4% ②25.1% ③37.6% ④15.4% ⑤5.6% ⑥無回答 5.8%)
- ケ 学校やPTAが行っているベルマーク運動等の活動に地域も協力している  
(①6.2% ②14.6% ③29.2% ④19.0% ⑤25.0% ⑥無回答 6.0%)
- コ PTAが発行する広報誌（PTA新聞など）を地域で回覧している  
(①43.1% ②19.4% ③11.2% ④9.0% ⑤12.3% ⑥無回答 5.0%)
- サ 地域とPTAがお互いに協力しあって地域活動を行っている  
(①16.3% ②25.7% ③27.9% ④12.8% ⑤11.9% ⑥無回答 5.4%)

子育てのしやすさ・高齢者の住みやすさ



## 5 学区・元学区における地域活動について

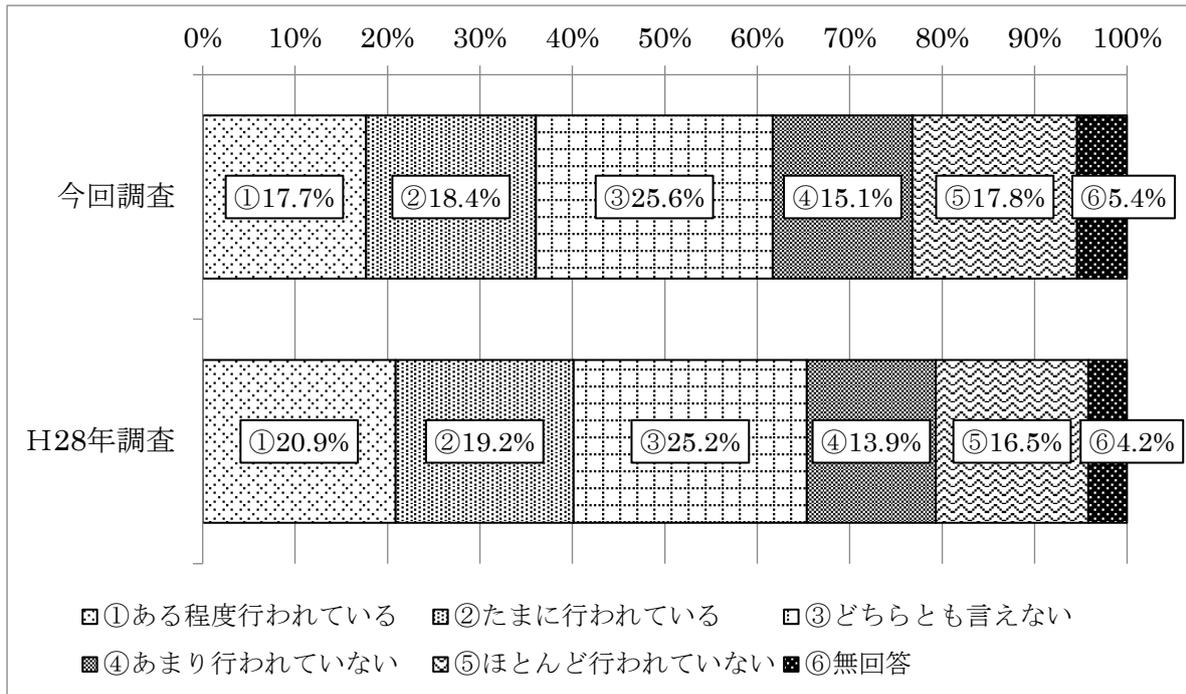
学区・元学区を単位とした地域で、地域活動がどの程度行われていると感じるか以下の16項目（ア～タ）に基づいてお尋ねした。項目ごとに、地域活動がどの程度行われているかを答えていただいたが、ここでは、すべての項目について合計したものをグラフ化した。

「ある程度行われている」（17.7%）と「たまに行われている」（18.4%）の合計が36.1%で、「ほとんど行われていない」（17.8%）と「あまり行われていない」（15.1%）の合計は32.9%となっている。

<設問項目>①ある程度行われている ②たまに行われている ③どちらとも言えない  
④あまり行われていない ⑤ほとんど行われていない

- ア 地域外の組織（団体・企業・NPOなど）や人々にも、地域活動への参加を呼びかけている  
(①8.8% ②12.1% ③25.7% ④19.7% ⑤28.4% ⑥無回答5.4%)
- イ 地元にある様々な組織（団体・企業・NPOなど）にも、地域活動への参加を呼びかけている  
(①11.1% ②15.8% ③25.3% ④18.8% ⑤23.6% ⑥無回答5.4%)
- ウ 地域の課題を解決する際、商店街や地域の企業などにも幅広く参加を呼びかけている  
(①6.7% ②12.8% ③30.0% ④18.6% ⑤25.9% ⑥無回答5.9%)
- エ 自治会・町内会に入っていない人にも、地域活動に参加するよう呼びかけている  
(①6.7% ②13.4% ③23.5% ④21.7% ⑤28.8% ⑥無回答5.9%)
- オ 子どもから大人まで、誰でも楽しめる行事やイベントを行っている  
(①23.5% ②28.9% ③17.6% ④11.9% ⑤13.2% ⑥無回答4.9%)
- カ 住民自らの手で行事やイベントを企画・開催するようにしている  
(①19.3% ②20.2% ③20.3% ④14.1% ⑤20.3% ⑥無回答5.8%)
- キ 地域の行事やイベントに、より多くの住民が参加できるよう工夫している  
(①20.3% ②22.1% ③27.3% ④12.5% ⑤12.8% ⑥無回答5.1%)
- ク 住民が「自分ごと」として、地域活動に関わっている  
(①8.6% ②16.0% ③41.0% ④18.3% ⑤10.7% ⑥無回答5.4%)
- ケ 住民の意見をまとめて、地域活動の方向性を示す努力をしている  
(①10.0% ②18.9% ③34.8% ④17.7% ⑤13.2% ⑥無回答5.4%)
- コ 地域全体に地域の課題を広く知ってもらうようにしている  
(①12.0% ②21.1% ③33.0% ④15.9% ⑤12.0% ⑥無回答5.9%)
- サ 地域の歴史・伝統・特徴を住民に知ってもらう機会を作っている  
(①6.2% ②14.2% ③29.8% ④20.6% ⑤23.6% ⑥無回答5.6%)
- シ 地域の魅力（自慢できるヒト・モノ・コト）を住民に知ってもらう機会を作っている  
(①5.7% ②12.0% ③28.6% ④21.6% ⑤26.5% ⑥無回答5.5%)
- ス 地域の魅力やウリを、広報誌やホームページなどで地域の内外に発信している  
(①4.7% ②8.6% ③22.9% ④18.8% ⑤39.0% ⑥無回答5.9%)
- セ ご近所の方には、まず自分から挨拶するように心がけている  
(①57.7% ②24.0% ③11.3% ④1.9% ⑤0.9% ⑥無回答4.2%)
- ソ 子どもたちが、地域の人とあいさつをするようにしている  
(①25.8% ②28.6% ③27.4% ④7.4% ⑤5.1% ⑥無回答5.7%)
- タ 近所同士で努めてあいさつをするようにしている  
(①55.7% ②25.1% ③11.6% ④2.2% ⑤1.0% ⑥無回答4.4%)

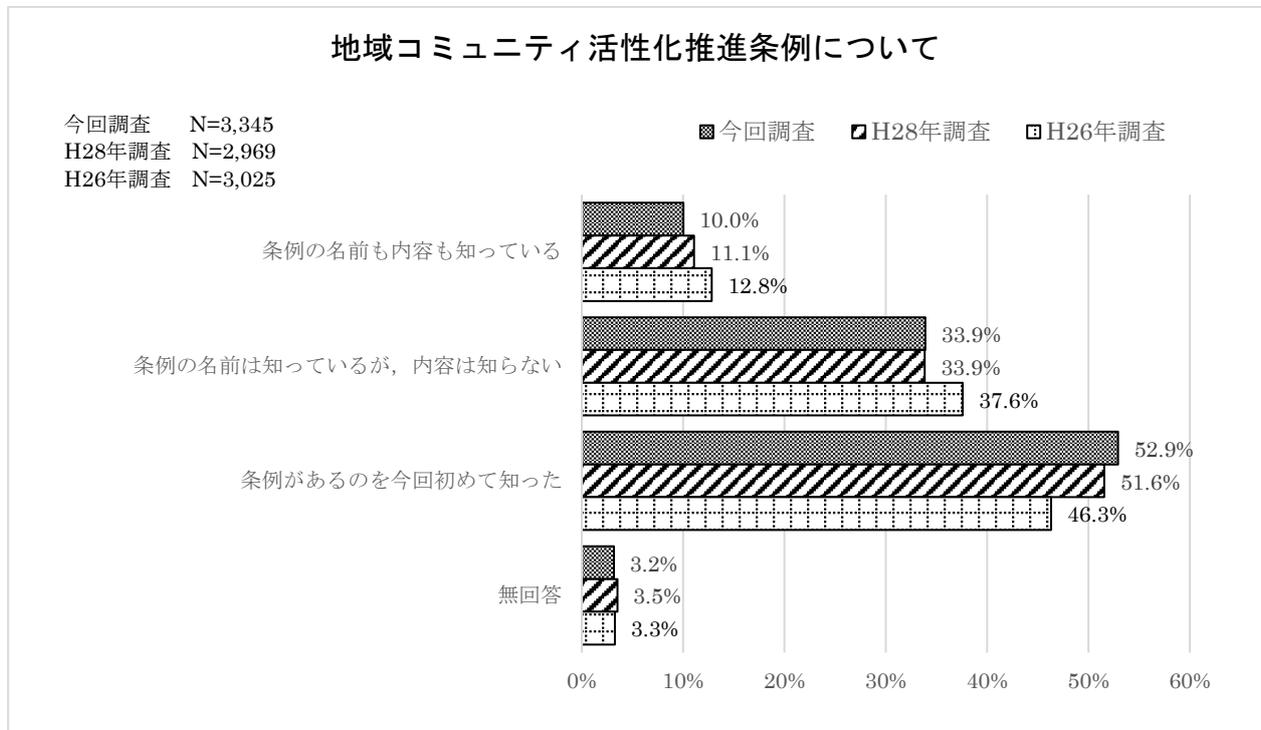
## 学区・元学区における地域活動



### 6 京都市の地域コミュニティ活性化策について

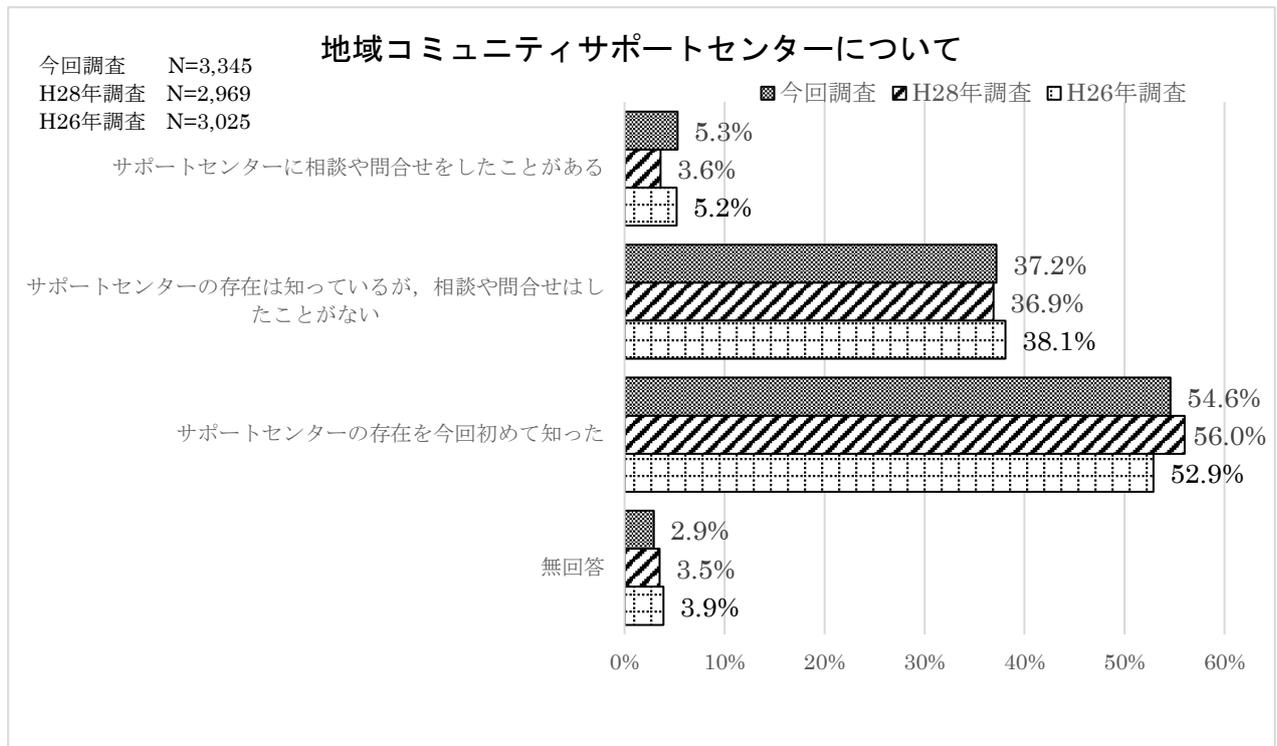
#### (1) 地域コミュニティ活性化推進条例について

地域コミュニティ活性化推進条例については、「条例の名前も内容も知っている」(10.0%)と「条例の名前は知っているが、内容は知らない」(33.9%)の合計が43.9%と平成28年度の45.0%と比べ1.1ポイント減少した。



(2) 地域コミュニティサポートセンターについて

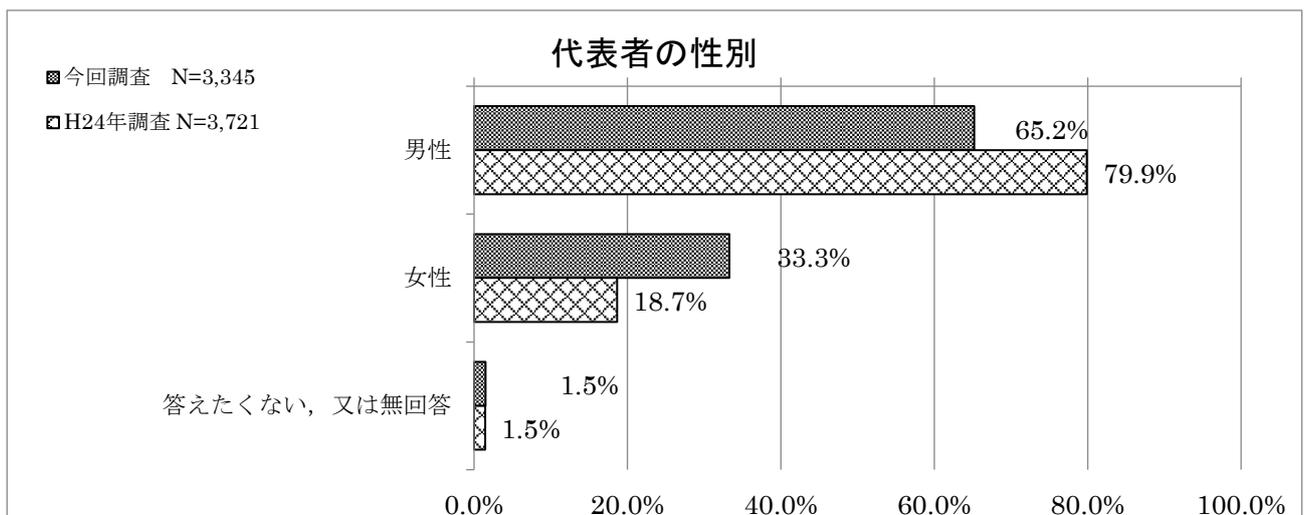
地域コミュニティサポートセンターについては、「相談や問合せをしたことがある」(5.3%)と「存在は知っているが、相談や問合せはしたことがない」(37.2%)の合計が 42.5%で、平成 28 年度の 40.5%と比べ 2.0 ポイント増加した。



7 自治会・町内会の代表者の属性について

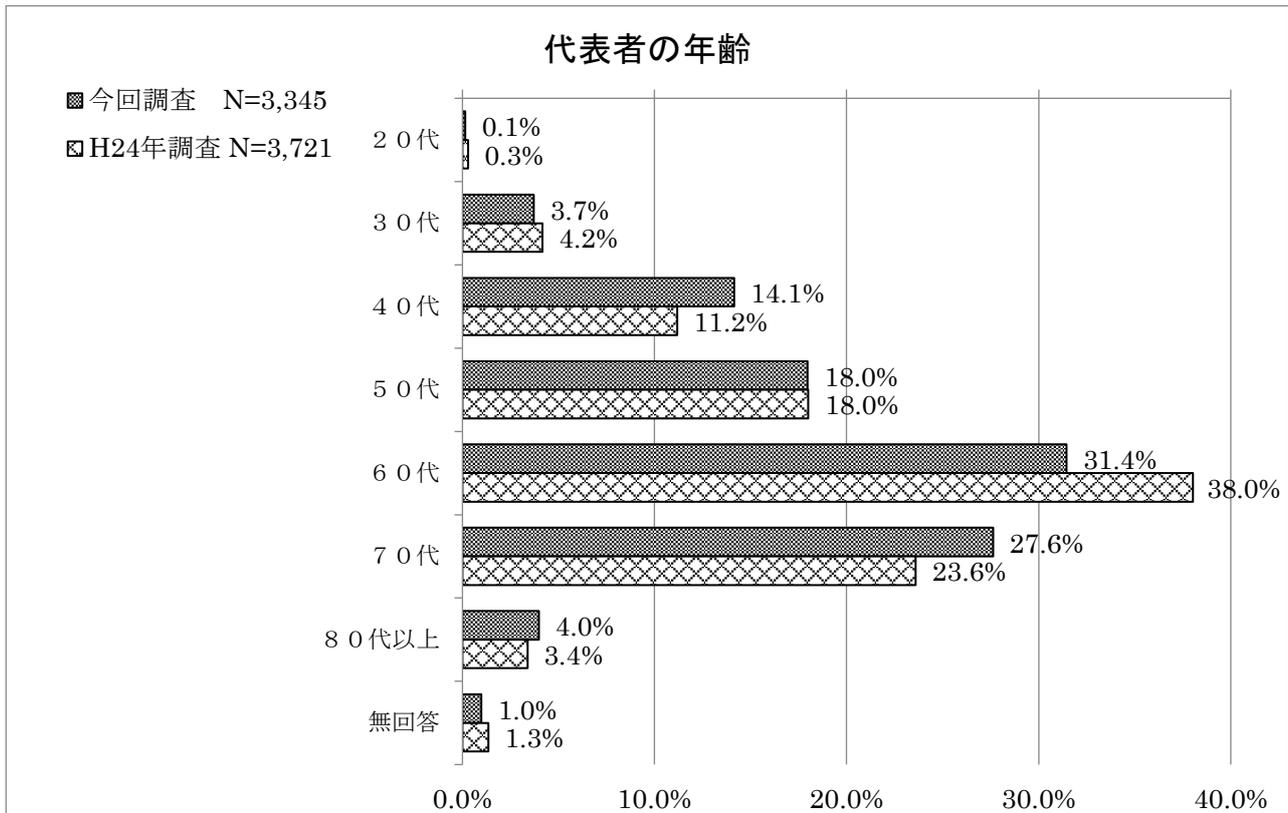
(1) 性別

性別は、「男性」が 65.2%、「女性」が 33.3%となっている。



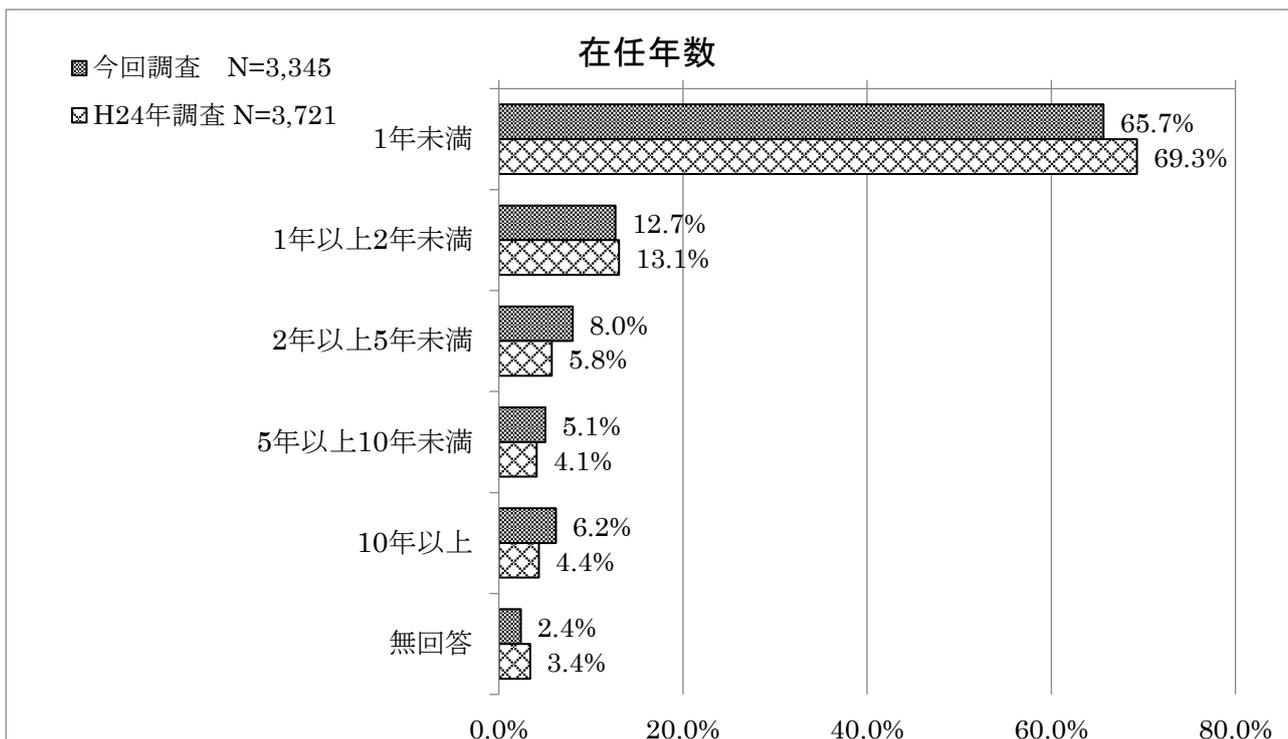
## (2) 年齢

年齢は、「60代」(31.4%)が最も多く、次いで「70代」(27.6%)となっている。



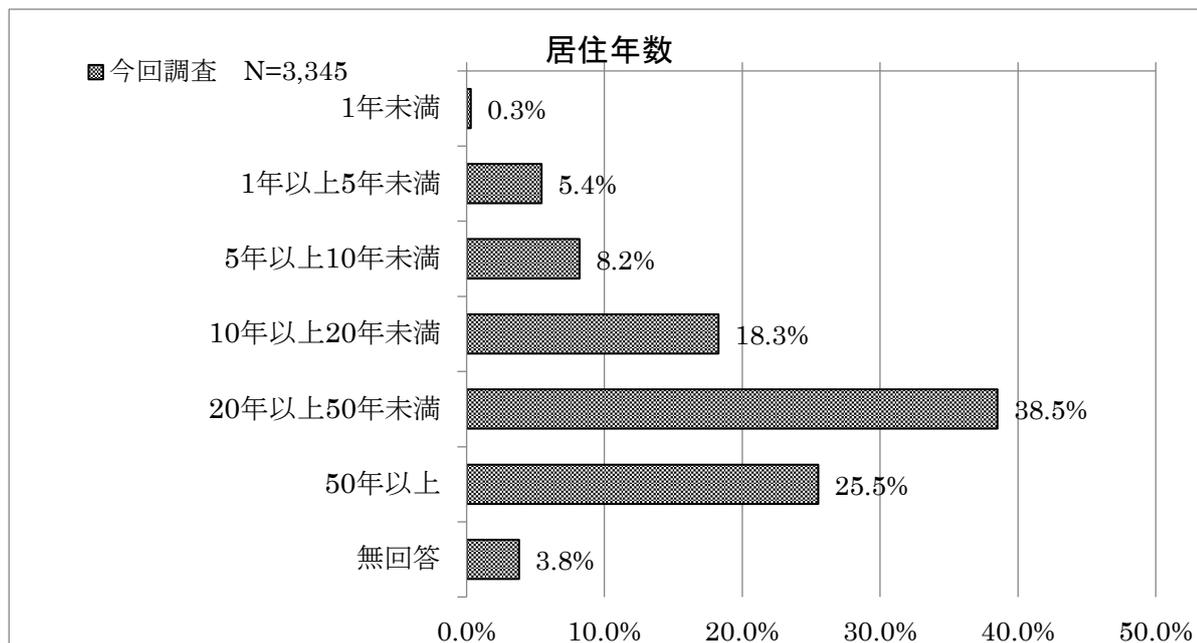
## (3) 会長等在任年数

在任年数は、「1年未満」(65.7%)が最も多く、次いで「1年以上2年未満」(12.7%)となっている。



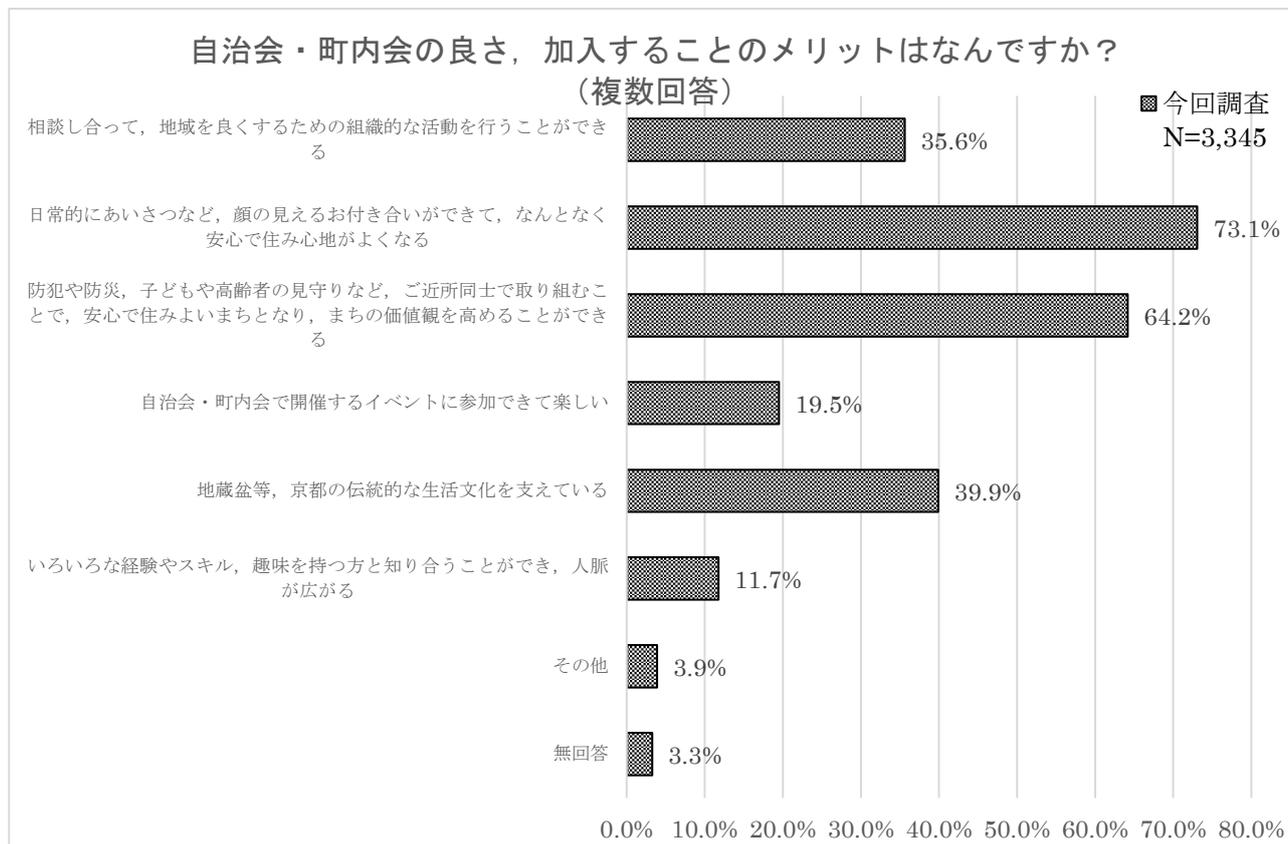
#### (4) 現在の町内にお住まいの期間

現在の町内にお住まいの年数は「20年以上50年未満」(38.5%)が最も多く、次いで「50年以上」(25.5%)となっている。



#### 8 自治会・町内会の必要性について

自治会・町内会の良さやメリットについて考え方を尋ねたところ、「日常的にあいさつなど、顔の見えるお付き合いができて、なんとなく安心で住み心地がよくなる」(73.1%)との回答が最も多く、次いで「防犯や防災、子どもや高齢者の見守りなど、ご近所同士で取り組むことで、安心して住みよいまちとなり、まちの価値観を高めることができる」(64.2%)となっている。



<参考>平成30年度自治会・町内会アンケートの設問

問1 会の概要について

- (1) 所在地
- (2) 名称
- (3) 住所表記上の町名
- (4) 加入世帯数・未加入世帯数

問2 貴会への加入状況等について

- (1) 引っ越して来た世帯は、どれくらい貴会に加入されていますか？
  - ① すべての世帯
  - ② 半分より多い世帯
  - ③ 半分程度の世帯
  - ④ 半分より少ない世帯
  - ⑤ 全く入らない
  - ⑥ 最近転入者はない
  - ⑦ 分からない
- (2) 加入の呼び掛けの状況について
  - ① 転入者や未加入者に加入を呼び掛けている  
(⇒呼び掛けは誰が担当していますか？ ①会長又は班(組)長 ②決まっていない ③その他)
  - ② 加入の呼び掛けは特段行っていない
- (3) マンション(共同住宅)にお住まいの方とのコミュニティの形成について(複数回答)
  - ① マンション住人全世帯が、原則として自治会・町内会に加入している
  - ② マンション住人の一部が、任意で自治会・町内会に加入している
  - ③ マンション住人は自治会・町内会に未加入だが、地域の行事等には参加する人もいる
  - ④ 準会員として会費を納めてもらっているだけで、それ以外は関わりがない
  - ⑤ 全く関わりがない
  - ⑥ マンションはない

問3 貴会の運営において、課題と感じられていることは何ですか？(複数回答)

- ① 未加入・退会の増加
- ② 住民の活動に対する理解や関心が薄い
- ③ 空き家が増加するなど、住んでいる人が減ってきている
- ④ 高齢者が多く、活動に参加できる人が少ない
- ⑤ 高齢の一人暮らし等が多く、役員を担える人が少ない
- ⑥ 住民がより参加しやすくなるように、活動の見直しを行える雰囲気がない
- ⑦ 自治会・町内会の行事や活動が多く、役員をはじめ、負担に感じられている人が多い
- ⑧ 行政や団体からの依頼による会議や活動への参加が多く、役員をはじめ、負担に感じられている人が多い
- ⑨ 行事や活動の内容等が従来からのままで、住民のニーズに対応できていないところがある
- ⑩ 活動に参加している人が固定化していて、活動に広がりがない
- ⑪ 活動のために集まる場所(施設)がない
- ⑫ その他 ( )

問4 あなたの地域(あなたが所属されている自治会・町内会など)の様子について、次のようなことが、どの程度ありますか。最も近いものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。

- (1) 路上にゴミが落ちていて、気になることがある
- (2) 壊れたままになっている街灯がある
- (3) タバコを吸っている未成年を見かける
- (4) 夜中に店の前や公園でたむろしている若者を見かける
- (5) 信号無視や違法駐車，駐輪マナーが守られていないことがある
- (6) 住民同士のルールやマナー（ゴミの出し方や夜間騒音など）が守られていないことがある

問5 あなたの地域（あなたが所属されている自治会・町内会など）では，次のような住民同士のかかわりあいがある，どの程度ありますか。最も近いものをそれぞれ1つ選び，番号に○をつけてください。

- (1) 立ち話をする
- (2) 趣味やスポーツを一緒にする
- (3) 一緒に出かけたり，買い物や食事をしたりする
- (4) お互いの家に遊びに行く
- (5) おすそ分けをしたり，おみやげを渡したり貰ったりする
- (6) お互いにお節介をやいたり，思いやったりする
- (7) ちょっとしたことでも助け合う
- (8) お互い友達になる

問6 あなたの地域（あなたが所属されている自治会・町内会など）で，次のようなことが起こる心配はどの程度ありますか。最も近いものをそれぞれ1つ選び，番号に○をつけてください。

- (1) 留守宅に泥棒が入ること
- (2) 道を歩いていて，ひったくりにあうこと
- (3) 車上ねらいが起こること
- (4) 不審者を見かけること

問7 あなたの地域（あなたが所属されている自治会・町内会など）について，次のようなことがどの程度あてはまりますか。最も近いものをそれぞれ1つ選び，番号に○をつけてください。

- (1) こどもが近所のよその家で気軽にごはんを食べてくる
- (2) こどもが夜泣きしてもあまり気兼ねなく子育てできる
- (3) 地蔵盆が熱心に行われている
- (4) 地域のこどもの名前（下の名前）を5人以上言える
- (5) 高齢者が気兼ねなく参加できる活動が盛んである
- (6) こどもが地域の高齢者にあいさつをする
- (7) 高齢者にとって住みやすいところである
- (8) 高齢者の見守り活動が熱心に行われている
- (9) 学校やPTAが行っているベルマーク運動等の活動に地域も協力している
- (10) PTAが発行する広報誌（PTA新聞など）を地域で回覧している
- (11) 地域とPTAがお互いに協力しあって地域活動を行っている

問8 あなたの地域（学区・元学区）では，次のような活動がどの程度行われていると感じますか。最も近いものをそれぞれ1つ選び，番号に○をつけてください。

- (1) 地域外の組織（団体・企業・NPOなど）や人々にも，地域活動への参加を呼びかけている
- (2) 地元にある様々な組織（団体・企業・NPOなど）にも，地域活動への参加を呼びかけている
- (3) 地域の課題を解決する際，商店街や地域の企業などにも幅広く参加を呼びかけている
- (4) 自治会・町内会に入っていない人にも，地域活動に参加するよう呼びかけている
- (5) 子どもから大人まで，誰でも楽しめる行事やイベントを行っている

- (6) 住民自らの手で行事やイベントを企画・開催するようにしている
- (7) 地域の行事やイベントに、より多くの住民が参加できるよう工夫している
- (8) 住民が「自分ごと」として、地域活動に関わっている
- (9) 住民の意見をまとめて、地域活動の方向性を示す努力をしている
- (10) 地域全体に地域の課題を広く知ってもらうようにしている
- (11) 地域の歴史・伝統・特徴を住民に知ってもらう機会を作っている
- (12) 地域の魅力(自慢できるヒト・モノ・コト)を住民に知ってもらう機会を作っている
- (13) 地域の魅力やウリを、広報誌やホームページなどで地域の内外に発信している
- (14) ご近所の方には、まず自分から挨拶するように心がけている
- (15) 子どもたちが、地域の人とあいさつするようにしている
- (16) 近所同士で努めてあいさつをするようにしている

問9 地域コミュニティ活性化推進条例について

- ① 条例の名前も内容も知っている
- ② 条例の名前は知っているが、内容は知らない
- ③ 条例があるのを今回初めて知った

問10 地域コミュニティサポートセンターについて

- ① サポートセンターに相談や問合せをしたことがある
- ② サポートセンターの存在は知っているが、相談や問合せはしたことがない
- ③ サポートセンターの存在を今回初めて知った

問11 あなた(アンケートを記入されている方)についてお答えください

- (1) 性別
  - ① 男性
  - ② 女性
  - ③ 答えたくない
- (2) 年齢
  - ① 20代
  - ② 30代
  - ③ 40代
  - ④ 50代
  - ⑤ 60代
  - ⑥ 70代
  - ⑦ 80代以上
- (3) 会長(役員)在任年数
  - ① 1年未満
  - ② 1年以上～2年未満
  - ③ 2年以上～5年未満
  - ④ 5年以上～10年未満
  - ⑤ 10年以上
- (4) 現在の町内にお住まいの期間
  - ① 1年未満
  - ② 1年以上～5年未満
  - ③ 5年以上～10年未満

- ④ 10年以上～20年未満
- ⑤ 20年以上～50年未満
- ⑥ 50年以上

問12 自治会・町内会の良さ，加入することのメリットは何だと思えますか（複数回答）

- ① 相談し合って，地域を良くするための組織的な活動を行うことができる
- ② 日常的にあいさつなど，顔の見えるお付き合いができて，なんとなく安心で住み心地がよくなる
- ③ 防犯や防災，子どもや高齢者の見守りなど，ご近所同士で取り組むことで，安心して住みよいまちとなり，まちの価値を高めることができる
- ④ 自治会・町内会で開催するイベントに参加ができて楽しい
- ⑤ 地蔵盆等，京都の伝統的な生活文化を支えている
- ⑥ いろいろな経験やスキル，趣味を持つ方と知り合うことができ，人脈が広がる
- ⑦ その他